

指 示

令和 5 年 1 2 月 2 2 日
特事指 2023-11

令和 6 年分扶養親族等申告書の重複提出者への対応

情報提供先	相談センター <input checked="" type="checkbox"/>	社労士会 <input checked="" type="checkbox"/>	健保協会 <input type="checkbox"/>	機構健保 <input type="checkbox"/>
目的・趣旨	<p>令和 5 年 8 月 30 日【特事指 2023-7】※「令和 6 年分扶養親族等申告書に係る事務処理」の別添 4 でお知らせしているとおり、令和 6 年分の扶養親族等申告書（以下「申告書」という。）を紙と電子申請により重複して提出し、かつ、紙と電子申請の申告内容に相違のある者に対して、お知らせ文書を送付します。</p>			
指示の内容	<p>1 重複提出者へのお知らせ文書の送付 令和 6 年分申告書を紙と電子申請で重複して提出し、かつ、紙と電子申請の申告内容に相違のある者に対して、令和 6 年 1 月 4 日（木）から順次お知らせ文書を送付します。（お知らせ文書の内容は別添 1 を参照。）</p> <p>2 お客様が申告書の修正を行う場合 紙と電子申請で重複して申告書を提出した場合は、電子申請の申告書の内容を基に課税処理を行うこととしています。 電子申請の修正が必要なお客様は、電子申請から再申請していただく必要があります。 お客様から電子申請を行うことができない等の事情により紙の申告書による修正を求められた場合は、【特事指 2023-7】※の別添 4 でお知らせした手順で対応してください。</p> <p>3 申告書の修正期限 令和 6 年 1 月 15 日（月）</p> <p>4 Q & A（別添 2 参照） Q & A を作成しましたので、お客様対応の参考としてください。</p>			
（注意点）	<p>紙による電子申請の修正はあくまで例外対応であるため、可能な限り電子申請による再申請を案内してください。</p>			
別添資料	<p>【別添 1】扶養親族等申告書を重複して提出された方へ（お知らせ） 【別添 2】令和 6 年分扶養親族等申告書の重複提出者へのお知らせに係る Q & A</p>			

「要報告」の場合	
報告期限	—
報告先	—

テレビ解説対象 ☐

お 客 様 各 位

日 本 年 金 機 構

扶養親族等申告書を重複して提出された方へ（お知らせ）

このたび、あなた様から令和 6 年分の「公的年金等の受給者の扶養親族等申告書」を、紙と電子申請の両方でご提出いただきましたが、申告内容に相違がありました（相違のある項目は裏面をご覧ください）。

日本年金機構では、電子申請で提出された申告内容をもとに、年金から源泉徴収する所得税の計算を行います。

電子申請により提出された申告内容に誤りがある場合は、お手数ですが、令和 6 年 1 月 15 日(月)までに電子申請により申告書の再提出をお願いします

（令和 6 年 2 月に支払われる年金から再提出された申告書の内容をもとに源泉徴収する所得税の計算を行います）。

電子申請による提出方法は、別紙をご覧ください。

※上記期日を過ぎて再提出された場合であっても、遡って源泉徴収する所得税の計算を行います。

お客様のご事情により電子申請による提出が難しい場合は、別紙『扶養親族等申告書お問い合わせダイヤル』へお問い合わせください。

対象者の基礎年金暗号番号を
記載します。

1111111118850

相違のある申告項目

項目名	電子申請による 申告内容	申告書（紙）による 申告内容
配偶者氏名	年金 花子	年金 花代
配偶者生年月日	昭和 20 年 9 月 2 日	昭和 21 年 9 月 21 日

紙の申告書と電子申請による申告内容の
うち、相違がある項目を記載します。

電子申請による申告内容（上表の赤枠内）を基に、年金から源泉徴収する所得税
の計算を行います。内容を確認いただき、修正が必要な場合は電子申請により再
提出をお願いします。

〒 XXX-XXXX
杉並区 高井戸西 X-X

年金 太郎 様

機密性2完全性2可用性2(特定事業部)
【申請内容の確認と再提出手順】

(1) マイナポータルにログインし、
トップ画面の「サービス一覧」
から「もっとつながる」を押し
ます。



※マイナポータル画面がイメージと
異なる場合があります。

(2) つながっているウェブサイト欄
の「ねんきんネット（日本年金
機構）」を押します。



【別添 1】 (別紙)

(3) ねんきんネットのトップページが
表示されますので、「届書を電子
申請する」を押します。



- (4) 「届書を電子申請する」画面で、「申請済みの届書を確認する」を確認する」の「確認する」を押します。

三
メニュー

ねんきんネット
ログアウト

届書を電子申請する

届書を申請する

届書を作成し、申請することができます。

作成する届書を選択する

申請済みの届書を確認する

申請済みの届書を確認することができます。

確認する

ねんきんネット (トップページ) へ戻る

- (5) 「申請済みの届書一覧」のうち、扶養親族等申告書を選択し、「照会」を押します。

三
メニュー

ねんきんネット
ログアウト

申請済みの届書を確認する

直近の申請情報が表示されています。
一定期間を経過した申請情報は表示されません。

申請済みの届書一覧

項番	項目名	申請情報
1	届書名	令和6年分 公的年金等の 受給者の扶養親族等申告書
	申請日	令和X年XX月XX日
	詳細	照会

- (6) 申告内容が表示されますので、内容を確認し、画面下部の「申告内容を修正し再提出する」を押します。

三
メニュー

ねんきんネット
ログアウト

公的年金等の受給者の扶養親族等申告書
の申告内容を確認する

選択された届書の申請内容は以下のとおりで内容を確認した結果、修正し、再度提出する場合は、画面下部の【申告内容を修正し再提出する】を押してください。

1 受給者情報

項目名	申告内容
氏名	年金 太郎
基礎年金 番号	0123-456789

申告内容を修正し再提出する

ねんきんネット (トップページ) へ戻る

電子申請メニューへ戻る

(7) ねんきんネットの扶養親族等申告書の入力画面に遷移しますので、変更を行い、画面下部の「申告書の内容確認」を押します。



三メニュー ログアウト

①作成 ②確認 ③署名 ④完了

申告書の作成

申告情報を修正される場合は、該当する項目を修正後、最後にページ下部の【申告書の内容確認】を押してください。

一度保存した申告情報を読み込む


※【一時保存した申告情報を読み込む】を押すと、直近で入力し、一時保存した状態から、入力を再開することが可能です。

1 受給者情報

氏名 年金 太郎様

詳細情報

+



2 配偶者情報

配偶者の年間所得見積額が95万円以下、または退職所得を除いた所得金額が95万円以下で、受給者ご本人が扶養している場合に入力してください。

氏名 年金 花子様

詳細情報

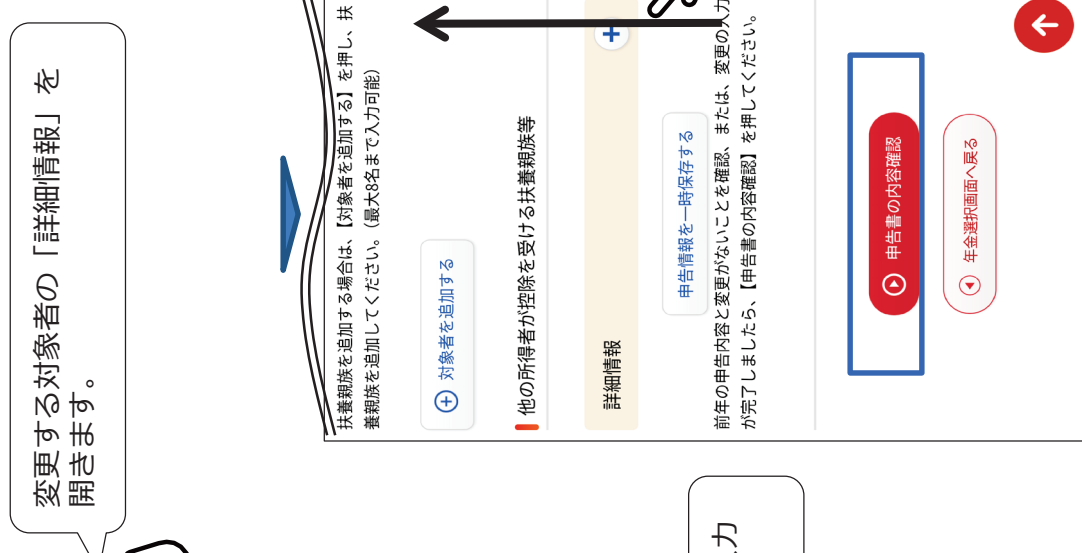
項目名	申告内容
氏名 必須	年金 花子
氏名 (フリガナ) 必須	ネンキン ハナコ
生年月日 必須	昭和 35 年 12 月 25 日

マイナパンパ 再入力 (確認用) 再入力 (再入力) *****

配偶者の収入 必須 2.収入が1の条件に

変更する項目を正しい内容に入力し直してください。

届出済 前回申告時からマイナパンパに連携ができません



変更する対象者の「詳細情報」を開きます。

扶養親族を追加する場合は、【対象者を追加する】を押し、扶養親族を追加してください。(最大8名まで入力可能)

対象者を追加する

他の所得者が控除を受ける扶養親族等

詳細情報

申告情報を一時保存する

前年の申告内容と変更がないことを確認、または、変更の入力が完了しましたら、【申告書の内容確認】を押してください。

申告書の内容確認

年金選択画面へ戻る

↑

(8) 変更後の申告内容を確認し、「申告書を提出する」を押します。

三メニュー

ねんきんネット

ログアウト

①作成

②確認

③署名

④完了

Ⓜ

提出する申告書の内容確認

注意：提出はまだ完了していません

今回提出する申告書の内容を表示していますので、提出前の確認をしてください。
申告書の作成画面において、変更入力をしていない場合は、前回と同じ申告内容を表示しています。
変更入力をした場合は、該当箇所は赤色で表示しています。

1 受給者情報

項目名	申告内容
氏名	年金 太郎
氏名 (フリガナ)	ネンキン タロウ
基礎年金番号	0123-456789

2 配偶者情報

項目名	申請内容
氏名	年金 花子
氏名 (フリガナ)	ネンキン ハナコ
生年月日	昭和30年5月5日
マイナンバー (個人番号)	届出済

⬇ 申告内容を修正する

確認が完了しましたら、【申告書を提出する】を押してください。

⬆ 申告書を提出する

(9) ご本人のマイナンバーカードと署名用電子証明書のパスワード(6～16桁)を用意し、「電子署名を付与する」を押します。

三メニュー

ねんきんネット

ログアウト

①作成

②確認

③署名

④完了

Ⓜ

電子署名の付与

マイナンバーカードを使い電子署名を付与する

注意：提出はまだ完了していません

【電子署名を付与する】を押して、署名用電子証明書パスワードを入力してください。
その後、画面の表示に従ってマイナンバーカードを端末にかざしてください。
署名用電子証明書パスワードとは、マイナンバーカードを受け取った際に利用者様自身が発定した英数字6桁～16桁のパスワードです。(4桁のパスワードではありませんのでご注意ください。)
※5回間違えるとロックされてしまうため、ご注意ください。

⬆ 電子署名を付与する

(10) 画面の案内に従って、パスワードを入力し、マイナンバーカードを読み取らせてます。

✕

電子署名の付与

マイナンバーカードの署名用電子証明書のパスワードを入力してください

英数字6～16桁
.....

次へ

署名用電子証明書のパスワードとは

パスワード (英数字6～16桁)を入力

パスワード入力



上の図のように、iPhoneの上部をマイナンバーカードの中央に置き、読み取り開始ボタンを押してください

機種ごとのカード読取位置はこちら

読み取り開始

金属製の机の上では、カードが認識されない場合があります

マイナンバーカードを読み取り

(11) 扶養親族等申告書の提出が完了。

ねんきんネット

①作成 ▶ ②確認 ▶ ③署名 ▶ ④完了

提出完了

公的年金等の受給者の扶養親族等申告書の提出が完了しました。

申告された内容に基づき、申告書対象年の2月以降にお支払いする年金から源泉徴収する所得税額の計算を行います。
申告された内容と源泉徴収した所得税額は、源泉徴収した年の翌年1月に送付する「公的年金等の源泉徴収票」に記載します。

源泉徴収票の電子送付のご案内

「公的年金等の源泉徴収票」はマイポータルにおいて電子データで受け取ることができ、e-Taxを利用して確定申告に利用できます。電子データで受け取る手続きは、「[通知書のペーパーレス化](#)」から行うことができますので、是非ご利用ください。

ねんきんネット(トップページ)へ戻る

電子申請メニューへ戻る

申請済みの申請書を確認する

再申請に関するご照会や、紙の申告書の提出により変更を希望される場合は、以下のお問い合わせダイヤルへお問い合わせください。

『扶養親族等申告書お問い合わせダイヤル』

 **0570-081-240** (ナビダイヤル)

※お問い合わせの際は、年金証書等、基礎年金番号のわかるものをご用意ください。

※050から始まる電話でおかけになる場合は (東京) **03**-6837-9932

通常の通話料金がかかります。

市外局番を省略する等、電話番号間違いが発生しています。先頭の「03」を省略しないようご注意ください。

お問い合わせ時間: 月曜日

午前8:30～午後7:00

火～金曜日

午前8:30～午後5:15 (月曜日が祝日の場合は、翌日以降の開所日初日に午後7:00まで)

第2土曜日

午前9:30～午後4:00

※土日、祝日(第2土曜日を除く)、12月29日～1月3日はご利用いただけません。

令和 6 年分扶養親族等申告書の重複提出者へのお知らせに係る Q & A

問 1 なぜお知らせが送られてきたのか。

（答）

令和 6 年分から扶養親族等申告書（以下「申告書」という。）は電子申請で提出が可能となりました。電子申請により提出された場合は、紙の提出は不要ですが、あなた様は紙と電子申請を重複して提出され、申告内容に相違がありました。申告内容を確認いただくため、お知らせを送付したものです。

問 2 申告書を再提出する必要があるのか。

（答）

紙と電子申請を重複して提出した場合、電子申請による申告内容に基づいて課税計算を実施します。

電子申請により提出した申告内容に間違いがなければ、再申請は必要ありませんが、修正が必要な場合は、電子申請により再提出をお願いします。

問 3 事情により電子申請が使用できない場合はどのように再提出すればよいか。

（答）

（コールセンターに照会があった場合）

お客様のご事情により電子申請を使用できない場合は、紙の申告書による再提出が必要となりますので、お近くの年金事務所への相談を案内してください。

（年金事務所に相談があった場合）

お客様から相談を受けた年金事務所は以下のとおり対応してください。

- ① 年金事務所において紙の申告書を受付する。
- ② 申告書の表面の上部に大きく「電子申請の訂正」と朱書きする。
- ③ カバン便ではなく、別途、日本年金機構特定事業部特定事業管理グループ宛てに直送する。

詳しくは[令和 5 年 8 月 30 日【特事指 2023-7】※「令和 6 年分扶養親族等申告書に係る事務処理」](#)【別添 4】を参照してください。

- （※）再申請において電子申請が使用できない場合の例
電子申請で申告書を提出した後、マイナンバーカードを返納した等によりマイナポータルを利用できなくなった場合。 等